SONY

4-690-664-**04**(1)

FM/AMラジオ

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

© 2017 Sony Corporation　Printed in China

* 4 6 9 0 6 6 4 0 4 * (1)

ICF-506

本機は、ワイドFM（FM補完放送）に対応しています。
ワイドFM放送とは、AM（中波）放送局の放送エリアにおいて、難受信対策や災害対策のために従来のFM放送用の周波数（76MHz ～ 90MHz）に加えて、新たに割り当てられた周波数（90.1MHz ～ 95MHz）を用いてAM番組を放送することです。

保証書

持込修理

品名	FM/AMラジオ
型名	ICF-506
お買上げ日	年　月　日

本書は、本書記載内容（下記記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申付けください。

ソニー特約店

お問合せ先：修理相談窓口
フリーダイヤル：**0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話からは、050-3754-9599
ホームページ：https://www.sony.jp/support/
ソニーマーケティング株式会社 東京都港区港南1-7-1 〒108-0075

保証期間	お買上げの日から　1年
お客様住所 お名前	電話　-　- 様

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品（ハードウェア）が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別（出張修理、持込修理、引取修理）をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書（再発行しませんので、大切に保管してください）の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、(1) お買上げのお店、(2) お近くのソニーサービスステーション、(3) 本書に記載の修理相談窓口の３種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	(1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	(1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	(3)	製品の引取時に指定業者へ提出	

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用（実費）を申し受けます。
※2 (1) (2) へのご依頼が難しい場合は、(3) にご相談ください。

2. お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。
3. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。
(1) 本書のご提示がない場合 (2) 本書にお買上げ日およびソニー特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合 (3) 保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合 (4) 使用上の誤り（取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む）による故障・損傷 (5) 他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷 (6) お買上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷 (7) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧などによる故障・損傷 (8) 業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷 (9) 消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換
4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。
6. 本書に基づく無料修理（製品交換を含む）後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
8. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。
9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ	

＊本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
＊保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。　T02-5

型名：ICF-506

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。　**https://www.sony.jp/support/**

使い方相談窓口
フリーダイヤル…… **0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ **050-3754-9577**

修理相談窓口
フリーダイヤル…… **0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ **050-3754-9599**
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「**304**」+「**#**」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

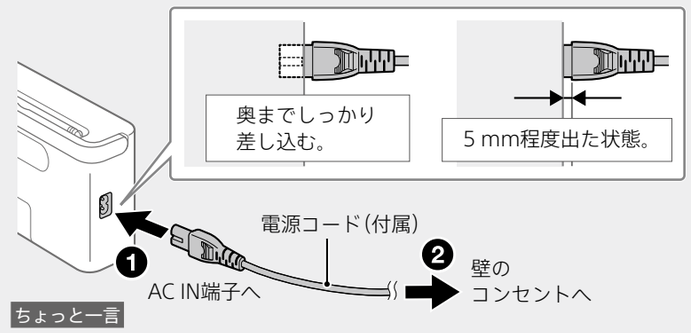
ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

電源を準備する

本機は家庭用電源、または乾電池（別売）のいずれかを選んでお使いになれます。

家庭用電源で使うとき

本体のAC IN端子へ差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください。

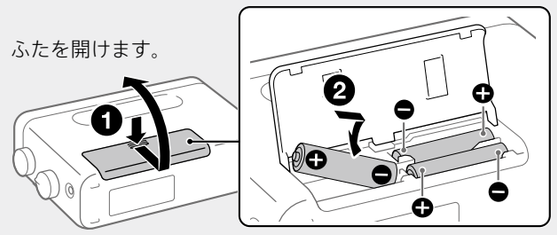


ちょっと一言
乾電池が入っていても、本体に電源コードをつなぐと自動的に家庭用電源に切り換わります。

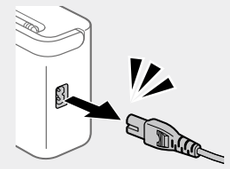
乾電池で使うとき

⚠ 電源コードは抜いておきます。

ふたを開けます。



単3形乾電池3本を、⊕と⊖の向きを正しく入れます。必ず⊖側から先に入れてください。



電源コードがAC IN端子に差し込まれていると、電源検出スイッチが働いて本体の電源が入りません。

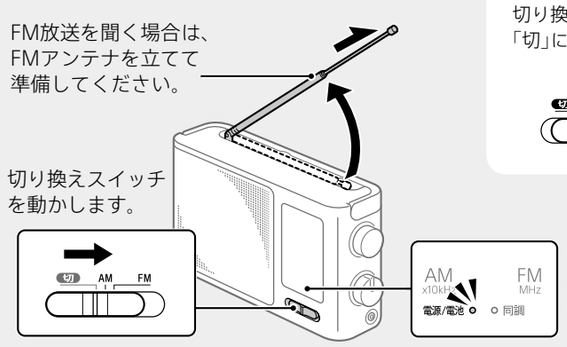
ラジオを聞く

ちょっと一言　別売りのヘッドホンをつないで聞くこともできます。詳しくはうら面をご覧ください。

1 「FM」または「AM」に切り換える

FM放送を聞く場合は、FMアンテナを立てて準備してください。

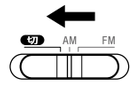
切り換えスイッチを動かします。



電源/電池ランプが緑色に点灯して、電源が入ります。

ラジオの電源を切るには

切り換えスイッチを「切」に動かします。



2 聞きたい放送局の周波数に合わせる

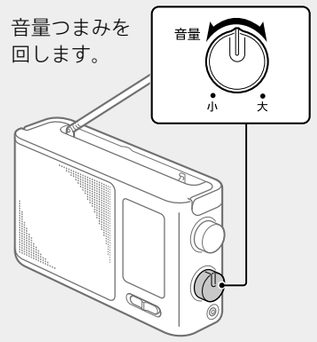
選局つまみを回します。

ちょっと一言
電波の強さや外部の影響により、受信していてもランプが点灯しなかったり、受信していなくてもランプが点灯することがあります。

同調ランプが点灯します。

3 音量を調節する

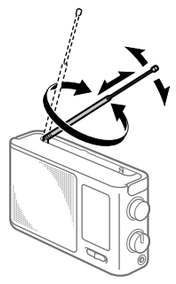
音量つまみを回します。



はっきりした音で聞くには

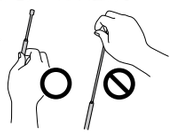
アンテナの向きを変えてみます。

FM放送

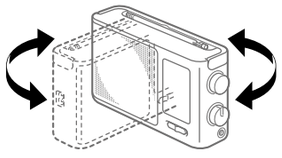


FMアンテナを長く伸ばして、受信状態の良い方向を探してください。

ご注意
FMアンテナの角度、向きを調整する場合は、必ずFMアンテナの一番太い部分を持って調整してください。先端部を持ったり過剰な力を加えてFMアンテナを傾けたり回転させると、アンテナを破損する場合があります。



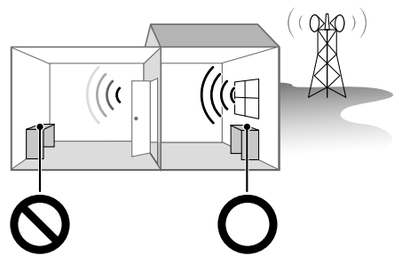
AM放送



AMアンテナは本体に内蔵されています。受信状態の良い本体の向きを探してください。

受信する場所を変えてみます。

環境によって電波状況が変わります。電波状況が悪い所ではうまく受信できないことがあります。電波状況の良い場所でご使用ください。



受信しにくい場所：窓から遠いところなど

受信しやすい場所：窓の近くなど

ご注意
本機に人の手が触れていると電波状況が変わることがあります。手を触れない状態で、電波状況が良い場所を探してください。

家電製品や携帯電話の近くで使用しない

ビルの谷間は避ける

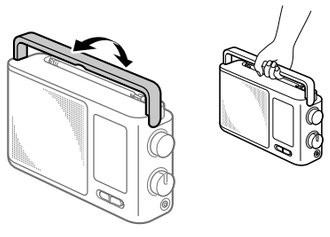
AM放送がうまく受信できないときは

一部のAM放送は、FM放送の周波数で聞くことができます。
詳しくは、サポートページ（「困ったときは（Q&A）」－「AM/FMラジオが受信できません」）をご参照ください。

https://www.sony.jp/support/radio/

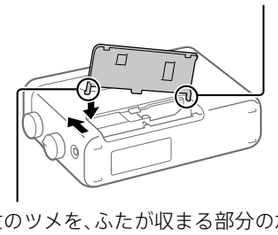
本機の持ち運びについて

本機を持ち運ぶときは、ハンドルを立ててしっかり握ってください。



電池ぶたがはずれたときは

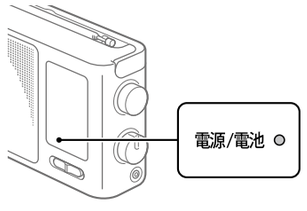
❶ 右のツメを本体の穴に差し込みます。



❷ 左のツメを、ふたが収まる部分の左側に引っかけ、穴に向けて滑らせます。

電池の交換時期について

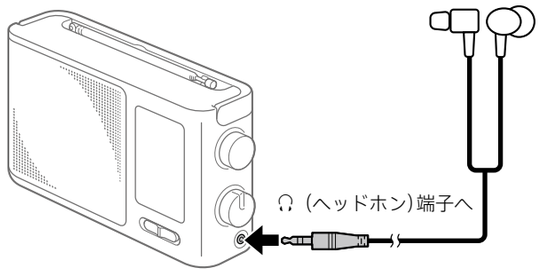
緑色の電源/電池ランプが消えたら、乾電池を3本とも新しいものと交換してください。



ちょっと一言
- 電源/電池ランプが消えても、少しの時間ラジオを聞くことができます。
- 乾電池交換の際は、電池に表示されている使用期限を確認してください。買い置きしたまま長時間放置した乾電池は、消耗していて使えない場合があります。

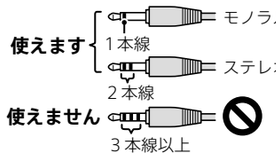
ヘッドホンで聞く

ヘッドホン（別売）を🎧（ヘッドホン）端子につなぎます。
音声は、モノラル出力となります。スピーカーからは音が出なくなります。



ちょっと一言

モノラルミニプラグ（2極）かステレオミニプラグ（3極）のヘッドホンをお使いください。その他のタイプのヘッドホンを使うと、ノイズが混じったり、音が出ない場合があります。



* 本機の🎧（ヘッドホン）端子はモノラル出力です。ステレオヘッドホンをつないでも、両耳から同じ音声（モノラル音声）が聞こえます。

ご注意

- 歩行中または自転車、バイク、自動車などの運転中はヘッドホンを使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 踏切や駅のホーム、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所ではヘッドホンを使用しないでください。
- ヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎてまわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、ヘッドホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより軽減されます。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 火災や感電の危険をさけるために、本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使用しないでください。
- 本機の上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ（40 ℃以上）や低いところ（0 ℃以下）
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く
  - 風呂場など湿気の多いところ
  - 窓を閉めきった自動車内（特に夏季）
  - ほこりの多いところ
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンなどは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- 本機を本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火災源を置かないでください。
- 付属の電源コードセットは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。
- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
  - 雨や雪、湿度の多い場所での使用
  - 汗をかく状況での使用
    ぬれた手で触ったりすると、水濡れの原因になることがあります。
  - 水しぶきのかかる場所での使用

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

機銘板について

機銘板は本機の底面に表示されています。

万一故障した場合は、内部をあけずに、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

困ったときは

修理をご依頼いただく前に、次のことをお調べください。

電源が入らない

- 電源コードをAC IN端子とコンセントにしっかり差し込んでください。（おもて面の「電源を準備する」の「家庭用電源で使うとき」参照）
- **乾電池でお使いの場合は、電源コードを本体から抜いてください。**電源コードが本体のAC IN端子に差し込まれた状態では、乾電池で動作しません。（おもて面の「電源を準備する」の「乾電池で使うとき」参照）
- 乾電池の＋と－の向きを正しく入れてください。
- 乾電池の使用期限が切れている場合は、使用期限内の乾電池と交換してください。
- 切り換えスイッチを動かして、「FM」または「AM」に切り換えてください。

使用中に電源が切れる

- 家庭用電源でお使いの場合、電源コードが**本体にしっかり差し込まれているか**確認してください。（おもて面の「電源を準備する」の「家庭用電源で使うとき」参照）
- 乾電池でお使いの場合、**電源/電池ランプが緑色に点灯していないときは、**乾電池が消耗しています。乾電池を3本とも新しいものと交換してください。

音が出ない/音が小さい

- 音量つまみで音量を調節してください。
- ヘッドホンが接続されていると、スピーカーから音は出ません。接続されている場合は、本体から抜いてください。

ヘッドホンから音が出ない/雑音が入る

- ヘッドホンを🎧（ヘッドホン）端子にしっかり接続してください。
- 本機に対応したプラグタイプのヘッドホンをお使いください。（うら面の「ヘッドホンで聞く」の「ちょっと一言」参照）

ラジオがうまく受信できない/雑音が入る

- おもて面の「はっきりした音で聞くには」をご覧になり、電波状況の良い場所を探してご使用ください。

主な仕様

受信周波数
FM: 76 MHz ～ 108 MHz
AM: 531 kHz ～ 1,620 kHz

スピーカー
直径約10 cm、丸形8 Ω 1個

出力端子
🎧（ヘッドホン）端子（ø 3.5 mm ミニジャック）1個

実用最大出力（JEITA*1）
640 mW

電源
AC 100 V、50/60 Hz
DC 4.5 V、単3形乾電池 3本

電池持続時間*2（JEITA*1）
ソニー単3形（LR6）アルカリ乾電池・スピーカー使用時

放送の種類	時間
FM	約35時間
AM	約35時間

最大外形寸法
約223.5 mm × 126.5 mm × 62 mm（突起部含む）（幅×高さ×奥行き）

質量
約790 g（乾電池除く）
約860 g（乾電池含む）

付属品
電源コード（1）
取扱説明書（本書）
保証書（本書に印刷）

*1 JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
*2 実際の電池持続時間は周囲の温度や使用状況により、短くなる場合があります。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
ラジオがうまく受信できないときは、おもて面の「はっきりした音で聞くには」をご覧ください。

それでも具合の悪いときは
お買い上げ店またはソニーの相談窓口（おもて面）にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

⚠警告
安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないかなどを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

↓

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号
火災　感電

行為を禁止する記号
禁止　分解禁止　接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号
プラグをコンセントから抜く　指示

⚠危険　火災　感電

下記の注意事項を守らないと
火災・感電・破裂により**死亡**や**大けが**の原因となります。

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

禁止

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、スイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。

⚠警告　火災　感電

下記の注意事項を守らないと
火災・感電により**死亡**や**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を入れない

禁止

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に点検や修理をご依頼ください。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 製品と棚の間にはさみこんだりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

禁止

火災や感電の原因となることがあります。
とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

海外では使用しない

禁止

交流100Vの電源以外で使用しないでください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、アンテナに触れない

接触禁止

感電の原因となります。使用中に遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにFMアンテナを縮めて使用を中止し、その後は触れないでください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

禁止

本機に新聞紙、テーブルクロス、カーテン、布などをかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密接して置いて、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災の原因となることがあります。

内部を開けない

分解禁止

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
またロッドアンテナ付きの製品を持ち運ぶ際は、目のけがなどをしないように、アンテナを折りたたんでください。
長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと
けがをしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

禁止

突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。
特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

乳幼児の手の届く場所に置かない

禁止

ヘッドホン使用時にヘッドホンコードが首に巻きつくと、窒息するおそれがあります。絶対に乳幼児の手の届く場所には本機を置かないでください。

不安定な場所に置かない

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所の強度も充分に確認してください。

持ち運びの際は、FMアンテナや、電源コードを持って持ち歩かない

禁止

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する

指示

異常が起きた場合に電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるように、電源プラグは容易に手の届くコンセントにつないでください。
通常、本機の電源を切っただけでは、完全に電源から切り離されません。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火による**大けが**や**失明**を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

単3形乾電池

⚠危険　**液漏れしたとき**

電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらないでください。
液が本体内部に残ることがあるため、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れてください。
- 充電しないでください。
- 火の中に入れないでください。
- 分解、加熱しないでください。
- ショートさせないでください。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。
- 液漏れした電池は使わないでください。
- 電池を使いきったときや本機を長時間使用しないときは、電池を取り出してください。
- 水などでぬらさないでください。風呂場などの湿気の多いところでは使わないでください。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。

⚠注意

- 電池を火のそばや直射日光のあたるところなど、高温の場所で使用、保管、放置しないでください。破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- 電池には使用期限があります。使用期限が切れた電池を使用すると、極端に電池寿命が短くなる場合があります。電池交換時には、お使いの乾電池が使用期限内であることをご確認ください。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしないでください。
- 指定された種類以外の電池は使用しないでください。